



新社会党東京都本部委員長

## 江原ひであきアピール 2006.10

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話 (03) 3381-7656 FAX (03) 3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール [hide-eba@cameo.plala.or.jp](mailto:hide-eba@cameo.plala.or.jp)

# 何故！ 北は核実験なのか

## 制裁では本質的解決はない！

北朝鮮が核実験したというニュースが飛び込んできた。テレビは大騒ぎだ！ 情報は時間と共に確実性を増してくる。午後には北の発表も事実としてアジア諸国が受け止める。

韓国から安倍首相の談話や官邸の塩崎官房長官の会見の様子がテレビで流れる。中国やロシア、韓国などが遺憾だ、嚴重なる抗議を！と主張しているという。中でも日本の慌てようは大変だ。安倍首相も怒り心頭のように “日本独自で新たな制裁を加える” と記者会見している。

マスコミも冷静さを欠いている。号外まで出した新聞社もある。NHKなども街の一般の人にインタビューして報道している。みな、異口同音に “けしからん” 的な発言をしている。なかには、“日本はなめられている” という声もある。当然だろう。そう仕向けているのだから！

## 北朝鮮に核兵器開発させるのは誰だ！

私も 「北朝鮮が核兵器を保有することは反対だ」。でも、北が核兵器を開発することを当然のごとく主張するように追い込んだのは誰か。なぜこんなにこの状況をつくってしまったのか！その総括が不可欠だ。

大体、核兵器を保有する5大国（米英露中仏）は、自らの核保有について削減や完全廃棄への展望など、どの国からも語られないではないか。中国やロシアにしても北朝鮮に対してどの面下げて核兵器保有を糾弾できるのか。

特に、アメリカなどが制裁を語る資格は皆無だ！ 世界に核が拡散するのはアメリカの世界制覇戦略が元凶ではないか。

日本や韓国はかろうじて、北朝鮮の核兵器保有を糾弾できるだろう。しかし、日本は日常において、アメリカを初めとした核保有5大国に対して 「核廃絶」 を本気で追求していない。だから、どこかの国が核開発を進めてもそのことを糾弾する説得力が無いのだ。

政府も政党もメディアも 「制裁だ！制裁だ！北を許すな！」 などと百万遍語っても根本的な解決はできない。

## 根本的解決は5大国の核廃絶 ！

根本的な解決は 「違い」 を認め合うことだ。歴史の違い、文化の違い、宗教の違い、価値観の違い、体制の違いなどを認め合うことだ。そのことによって「核」のない世界が見えてこよう。

日本が「明日の人間社会を切り拓く最短距離にある」だろう。そのためには、アメリカ隷従をきっぱりと改めなければならない。

## 安倍首相 が中国、韓国へ

安倍首相が意気込んで中韓を訪問！ きょう韓国へ！ これまでの主張を急変（棚上げ？）させ、いわく「わが国は、先の大戦の反省（アジアの国々に多大な損害と苦痛を与え、傷あとを残した）の上に戦後60年を平和国家として歩んできた」と。

中国も韓国も安倍の言質を政治的に捉え、状況打開のために「未来志向」で友好を演出したのだろう。

そのようなタイミングの中で、政治の次元が異なる北朝鮮が「アジアには俺もいるんだぞ」と「核」を爆発させた！のだ。まさに政治戦争だ！

2006年10月9日

新社会党：江原ひであき